

# 政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		保健環境研究所
	05	02	01	08	01	

政策
衛生検査体制の強化と充実した感染症情報の提供

## 政策の内容

感染症や食品等に関する衛生検査の体制強化に向けた取組を推進することで専門性を高め、検査技術の向上を図ります。  
サーベイランス情報の集約・分析力を向上させるとともに、充実した情報提供に努めます。

## 生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

## 現状・課題

- ・地方衛生研究所は、改正地域保健法(令和5年4月1日施行)により新興再興感染症に備えた体制の整備を求められている。当所においては、2024年度に策定した健康危機対処計画に基づき、人材育成研修や実践型訓練を実施した。今後は、訓練の振り返りを通じて課題を把握し、継続的な体制整備を図る。感染症危機発生時における体制の整備が引き続き重要な課題であり、市民の健康と安全を確保するため、さらなる取り組みを進めていく必要がある。
- ・食中毒の発生により担当課における早急な指導や行政処分を実施するため、昼夜を問わず検体が搬入され、迅速な対応を求められている。
- ・理化学的検査の結果の信頼性を確保するため、試験法が妥当であることの確認が必要である。そのため、機器更新にともなう妥当性の再確認、食品添加物の新たな妥当性確認、検査依頼課との妥当性確認の進め方の調整等が課題である。
- ・感染症流行予測に必要な専用解析ツールの活用、設備の段階的な更新、感染症情報センターにおける情報提供の質的向上を図ることが課題である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	298,734	187,650			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	32.0	34.0			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	11.0	14.0			
再任用職員(31時間勤務)	2.0	1.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
保健環境研究所 運営事業	検査や測定に係る機器のリースやメンテナンスを行う。	133,817
食中毒、感染症 検査事業	<p>1 感染症に関する検査 感染症発生動向調査事業として、感染症発生届に伴う検査(全数把握疾患)及び定点サーベイランス(定点把握疾患)の検査を実施する。また、感染症情報センターとして、ホームページを通じて市民に感染症情報を発信する。</p> <p>2 特定感染症事業に関する検査 血液中のHIV及び梅毒の検査を実施する。</p> <p>3 食品等の収去検査 市内で製造・販売される食品等について、食品衛生法で定められた「食品、添加物等の規格基準」に基づく検査を実施する。</p> <p>4 食中毒に係る原因菌などの検査 食品や患者検体からノロウイルス、カンピロバクターなど食中毒の原因病原体を検査する。</p> <p>5 公衆衛生および環境水質に関する細菌検査 プール水、公衆浴場水、海水浴場水、事業場排水などの基準項目を検査する。</p> <p>6 健康危機管理体制の強化 健康危機対処計画を元に、検査資材の備蓄や実践型訓練を行う。</p>	19,708
	<p>1 食品の検査 ①残留農薬、動物用医薬品、添加物、有害物質等の検査を実施する。 ②残留農薬等試験法及び食品添加物分析法の妥当性確認を実施する。</p> <p>2 家庭用品の検査 ホルムアルデヒド等の検査を実施する。</p> <p>3 健康食品の検査 医薬品成分の検査を実施する。</p>	10,692
食品等放射性物 質検査事業	食品に係る放射性物質の検査を実施する。	3,335
保健衛生検査デ ジタル運営経費	業務用機器のリース及び保守、専門解析ソフトウェアの管理を行う。	565

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2026年度 予算
		2026年度 決算
食肉安全対策推進事業	<p>1 牛、豚等のと畜検査 ①と畜場に搬入される牛、豚等について法律に基づき一頭ごとの検査を行い、食用の適否を判定する。 ②と畜場に搬入される牛のうち、生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの、及び、全身症状を呈する牛について牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査を行う。</p> <p>2 鶏の食鳥検査 ①食鳥処理場に搬入される鶏について法律に基づき一羽ごとの検査を行い、食用の適否を判定する。 ②食鳥処理場において、必要に応じて高病原性鳥インフルエンザ・スクリーニング検査を行う。</p> <p>3 と畜場等の衛生検証、食肉の残留有害物質検査 ①と畜場施設及び枝肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行う。 ②食鳥処理場施設及び食鳥肉について微生物検査を行い、科学的根拠に基づいた監視指導を行う。 ③食肉中の残留有害物質を検査し、動物用医薬品等が残留する食肉を排除する。</p>	19,006
	食肉衛生検査デジタル運営経費	食肉衛生検査所の業務運営におけるシステム等のリース、保守に関する業務を行う。

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
食中毒・感染症に関わる微生物の調査研究件数(件)	1年間に実施した調査研究数(新規、継続を含む)	微生物検査の分析体制を整備し感染症や食中毒等の原因をいち早く特定することにより、健康で安心できる市民生活に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	2	2	2	2	2
			実績値	4	1				
			達成率	-	50%				
食品残留農薬等検査に関する調査研究の件数(件)	1年間に実施した調査研究数(新規、継続を含む)	食品分析の体制を整備し、市民に有害な食品等を排除することにより、健康で安心できる市民生活に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	2	2	2	2	2
			実績値	2	2				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
年間ホームページ閲覧数(PV)	浜松市感染症情報センター及び浜松市感染症発生動向調査を合計した閲覧数	感染症情報センターへの閲覧数が増加することで市民の感染症情報への関心度を図ることができる。	目標値	-	109,656	115,139	120,896	126,941	133,288
			実績値	104,435	2026年5月確定				
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画指標	指標の定義		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	目標値 2034年度
健康寿命(歳)	○	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間 ※3年に一度行われる調査をもとに厚生労働省が算出	実績値	男性 73.70 女性 75.95 (2022年度)	2027年度確定					男性 75.24 女性 78.15
			達成率	男性 97% 女性 97%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

病気の発症や重症化を予防することにより、健康で自分らしく充実した生活を送っている。

## 【2026年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価時に記載</div>

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2027年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載